

令和4年度

ブロック別研修会の取組 実践発表

安芸郡東部ブロック むろと保育園

1 園の概要

○園児数、クラス数、職員構成

年齢	0歳児	1歳児	1・2歳児		3歳児	4歳児	5歳児	合計
クラス名	らっこ組	ぺんぎん組	かに組		いるか組	かもめ組	くじら組	
園児数	5	11	1歳児 3	2歳児 8	19	16	22	84
担任数	2	2	2		1(2)	1(1)	1(2)	14
その他	園長1・主任保育士1・特別保育事業4（子育て支援、家庭支援、一時預かり保育） 調理師3							

○めざす子ども像

- ・友達と十分遊び込む中で考え工夫し、それを伝える力や行動する力をつける
- ・友達との関わりの中で相手の気持ちを聞き、思いやりや共感することができる子ども
- ・積極的に色々な遊びに取り組み、創造したり楽しさを表現することができる子ども

○保育目標

- ・思いやりのある子
- ・よく見よく聞きよく考える子
- ・健康で明るく元気いっぱい遊べる子

2 研修目標

「子ども同士の関わりの中で一人一人の子どもが意欲的に遊び込める環境構成や保育者の援助」

3 研修目標設定の理由

本園の子どもたちは一人一人は元気で活発ではあるが、全体的に落ち着きがなく、人の話が聞けなかったり、集中力の弱さが見られる。遊びの中では好きな遊びを楽しんでいるように見えるが、飽きっぽく、遊び込みの弱さを感じる。又、コミュニケーションのとりにくい子どもが増えてきているように思う。

このような姿から具体的な取り組みとして、運動遊びや集団遊び、簡単なごっこ遊びが充実できるように取り入れ、子どもたちが自発的に行動できる環境づくりや保育者の援助について研究し、保育者間の共通理解を深めていくことにした。

4 年間取組内容

- ◆ 4月…研修目標について
- ◆ 5月…2歳児保育と協議
- ◆ 6月…5歳児保育と協議
- ◆ 7月…3、4歳児保育と協議
- ◆ 8月…指導案、環境構成について
- ◆ 9月…公開保育に向けて指導計画・指導案作成
- ◆ 10月…全クラス公開保育
- ◆ 11月…親育ち支援研修
- ◆ 12月…0、1歳児保育と協議
- ◆ 1月…研修会まとめ（振り返り）
- ◆ 2月…13ブロック研修会参加
- ◆ 3月…総括・次年度に向けて

5 成果

①子どもの姿の変容

- ・子ども達がやりたいことを保育に取り入れることで、自分達で遊びやルールを決めて、集団遊びなどを楽しむことができるようになった。
- ・子ども達より「～したい」という声が多く聞かれるようになってきた。
- ・菜園活動では、芋のつるを植えて育てることで、野菜への親しみや愛情をもつようになり、水やりの時に「大きくなあれ」など声をかける子どもが増えた。

5 成果

②研修体制に関わる内容

- ・職員間で環境構成や保育者の援助について意見を出し合い、見直しを行ったことで、共通理解を図ることができた。
- ・研修を行う中で、保育指針や指導案について向き合うよい機会となった。
- ・研究協議では他の保育者の意見を聞くことによって、環境構成や保育者の援助等の気づきがあったり、次の保育につなげることができた。
- ・作成した指導計画について実践をしながら見直しや検討を重ねている。

5 成果

③保育者の意識や保育実践の変容

- どのようにしたら主体的に遊べるようになるのかを意識した環境の見直しをするようになった。
- 年齢に応じた環境構成や保育者の援助をより考えるようになり、子ども達が安心して生活し、興味をもてるような環境づくりができていたか、振り返りをするようになった。
- 親育ち支援研修では、子どもや保護者の気になる姿を職員間で共有し、課題に対しては担任だけではなく職員で連携して支援をすすめていく必要性を確認できた。
- 保育園を再編し一つの新しい園になったことで、どのような保育を中心に据えて保育を行っていけばよいか、方向性を共有することができた。

5 成果

④公開保育を行って

- ・参加者に様々な意見を頂き、自分の保育を見直すことで課題が明確となり、より良い保育に向けて考える機会となった。
- ・色々な角度からの子ども理解や言葉がけ、環境構成など、子ども達の伸ばしたいところをよく見て、指導案を立てる重要性が再確認できた。
- ・子どもにとって保育者の行動や言葉がけが影響しており、保育者の役割がとても大切であると改めて感じた。

6 来年度に向けて

①子どもの姿から、さらに伸ばしていきたい力

- ・遊びが持続し、子どもの満足感、達成感につながる保育者の関わりや環境づくりを確保していく。
- ・体力づくりを行い、体を鍛えることで精神面も強くなってほしい。
- ・野菜の収穫から食育（クッキング）へつなげたかったができなかったなので、来年度はチャレンジしたい。

②研修体制・保育実践・保育の質に関すること

- ・今年度の振り返りを生かして見直す点や継続する点を話し合う。
- ・保育や指導案作成など、重点性や優先順位を話し合い、一日を効率よくつかうようにする。
- ・行事や保育内容について園全体で見直し、子ども達にとってより良いものになるように話し合う。